

政策体系	基本目標名	03	健やかで元気に暮らせるまちづくり	施策主管課長	感染症対策室
	政策名	01	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		
	施策名	03	感染症対策の推進		
施策関係課	健康増進課、消防本部総務課、産業政策課、いきいき高齢課、介護保険課、障がい福祉課、こども課、保育課、学校教育課			亀山 佳弘	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	①市民 ②事業所 ③医療機関 ④公立小中学校・義務教育学校、公立保育園、公立放課後児童クラブ	対象指標	① 市人口 ② 市内の事業所数 (H28経済センサ調査) ③ 市内医療機関数 (病院・一般診療所) ④ 公立の小中学校等、保育園、放課後児童クラブ	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	①感染症の対策状況が把握できるため成果指標として採用した。 ②ワクチン接種が進むことが、まん延防止につながることから成果指標として採用した。					
	① 人 ② 箇所 ③ 箇所 ④ 箇所	115,700	-	-	-	6,236	-	-	-			106	-	-	-	84
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	①②③④感染防止対策の徹底を図る	成果指標 (意図の達成度を表す指標)	区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法	① 市政アンケート ② 対象人口におけるワクチン接種を受けた方の率 ③ ④					
	① 感染対策に取り組む市民の割合 ② 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種率	目標 実績	%	100 95.8	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -							

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7
感染症対策の徹底	①市民 ②事業所 ③公立小中学校・義務教育学校、公立保育園、公立放課後児童クラブ	①②③感染症を予防する。 ①②③④集団感染の発生を防ぐ	① 感染対策に取り組む市民の割合	目標	%	100	100	100	100	感染症対応体制の充実	①医療機関	①医師会との連携をとおり、感染症への対応体制を充実する。	① ウイルス検査を受けられる医療機関	目標	箇所	25	25	25	25
			② 新しい働き方環境整備費補助金利用	実績	件	95.8	-	-	-				② ワクチン接種ができる医療機関数	実績	箇所	46	-	-	-
			③	目標		2	4	6	8				③	目標		60	60	60	60
			④	実績	0	-	-	-	④				実績		60	-	-	-	

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 多様な媒体を活用し、感染拡大防止の取組を市民や事業者などに積極的に情報発信し周知する。 事業所等における感染症対策や感染者が判明したときの感染拡大防止を支援する。 発熱時に受診できる医療機関や、ウイルス検査が受けられる医療機関等の拡充を図られるよう支援する。 感染症のワクチン接種が受けやすい体制づくりを推進する。 未知なるウイルスが発生した際の体制整備を図る。 		<p>【施策の取組方針達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染状況に応じて、ホームページ、デジタル広告、新聞折込チラシ等を活用し市民に周知を図った。拡大期には街頭啓発を商業施設で実施した。 感染者が判明し、まん延防止のためにPCR等検査を実施した病院、高齢者施設等に対し支援を行った。 発熱時にウイルス検査を実施する医療機関に補助金を交付し、ウイルス検査が受けられる医療機関を支援した。 新型コロナウイルスワクチンを円滑に接種できるよう、医療機関を支援した。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 予防接種法等に基づき、乳幼児及び児童生徒、高齢者等に予防接種を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 <p>【施策の成果指標達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「感染症対策に取り組む市民の割合」は、感染対策について多様な媒体を活用して市民や事業者等に周知を図ったが、目標100%に対し、実績は95.8%で目標は未達成だった。 「新しい働き方環境整備費補助金利用件数」は、新たな施設整備にはならず、補助金の利用はなかった。 「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種率」は、目標80%に対し実績は85.8%で目標を達成した。 			
基本事業	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
	感染症対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大時には対策本部会議を開催し、市の対応方針を決定する。また、感染拡大防止を図れるよう、多様な媒体を活用し、市民や事業者等に積極的に情報を発信し周知する。 市民や事業者に対して検査を希望する方に対して、PCR等の検査を受診しやすい体制を作り、発生やまん延防止を防ぐ。 	<p>【基本事業の取組方針達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染状況や国、県の動向を見ながら対策本部を開催し、市の対応方針を決定した。感染状況に応じてホームページ、デジタル広告、新聞折込チラシ等を活用し市民に周知を図った。 希望する市民に対し、無料抗原検査を実施した。まん延防止のためにPCR等検査を実施した病院、高齢者施設等に対し支援を行った。 <p>【基本事業の成果指標達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「感染症対策に取り組む市民の割合」は、感染対策について多様な媒体を活用して市民や事業者等に周知を図ったが、目標100%に対し、実績は95.8%で目標は未達成だった。 「新しい働き方環境整備費補助金利用件数」は、新たな施設整備にはならず、補助金の利用はなかった。 	感染症対応体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 発熱時にウイルス検査が受けられる医療機関が増えるように補助金等により支援を行う。 新型コロナウイルスワクチンを円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 予防接種法等に基づき、乳幼児及び児童生徒、高齢者等に予防接種を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に接種できるよう、医療機関に支援を行う。 <p>【基本事業の成果指標達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ウイルス検査を受けられる医療機関数」は、目標25箇所に対し実績は46件であり、目標を達成している。 「ワクチン接種ができる医療機関数」は、目標60箇所に対し実績は60件であり、目標を達成している。 	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日より、感染症法上の位置づけが、2類相当から5類に移行した。 5類移行に伴い感染対策は、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、個人や事業者の自主的な取組を基本とするものになった。 新型コロナウイルスワクチン接種は、特例臨時接種の実施期間が令和5年度の1年間延長となったことから、令和5年度までは、これまでと同様に自己負担なく接種が行えることが決まっている。令和6年度以降のワクチン接種の取組については、国から示されていない。 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、マスク着用などの感染対策について、個人の判断により実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、マスク着用などの感染対策について、事業者の判断により実施する。 新しい働き方の導入等を行うことで、平時から感染防止対策に取り組む。 事業を継続する体制を整える。 ワクチン接種を受けやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況に応じた対策を行い、感染拡大防止につなげる。 希望する市民がワクチン接種を受けられるよう接種環境の構築を行う。 感染者が適切な診療を受け、安心して暮らせる環境をつくる。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、デジタル広告などの媒体を活用し、感染拡大防止の取組を市民や事業者に対して情報発信し、周知を図り、市政に関するアンケートにおける「感染症対策に取り組む市民の割合」は、95.8%と高い割合となったが、引き続き周知を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染者が判明した医療施設、高齢者施設及び事業所等に対し、PCR等検査を実施した際に、補助金を交付し支援した。不安を覚える市民に対しては、無料の抗原検査を行った。また、感染症対策の実施に当たっては、佐野市医師会などと意見交換し、情報共有を図った。 発熱時に受診できる医療機関やワクチン接種を行う医療機関を支援した。ワクチン接種については、今後も国の方針に応じた体制を確保する必要がある。 新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく「新型コロナウイルス等対策ガイドライン」等を更新するとともに、職員の防護服着脱訓練のほか、職員用防護服の備蓄を行った。継続した体制整備が必要である。 施策コストとしては、令和4年度の予算額、約15億4,900万円に対し、決算額は、約9億9,500万円であり、執行率64.2%であった。主な要因は、新型コロナウイルスワクチン接種事業において、令和4年秋開始接種の接種率が想定を下回ったことによるものであった。 	<p>【令和5年度で解決する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5類移行に伴う補助事業の見直し <p>【令和6年度以降にも引き継がれる課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 感染症対策の周知 国の方針に応じた新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保 予防接種法等に基づく定期接種の実施 新たな感染症に対処できる体制の整備 <p>【令和6年度に重点的に取り組む課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 状況に応じた新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止 	<ol style="list-style-type: none"> 感染症対策に関する情報発信を継続することで市民等に感染症対策の定着を図る。 佐野市医師会等と連携し、新型コロナウイルスワクチンの接種を希望する方が、接種を受けられる体制確保を行う。 予防接種法等に基づき、乳幼児及び児童生徒、高齢者等に対する定期接種が継続して実施できるよう医療機関の体制確保を行う。 新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく「新型コロナウイルス等対策ガイドライン」の更新や、佐野市医師会等との意見交換の機会を設けるなどして体制整備を図る。 国・県の動向を注視し、感染状況に応じた臨機応変な対策を実施することで、感染拡大の防止を図る。